

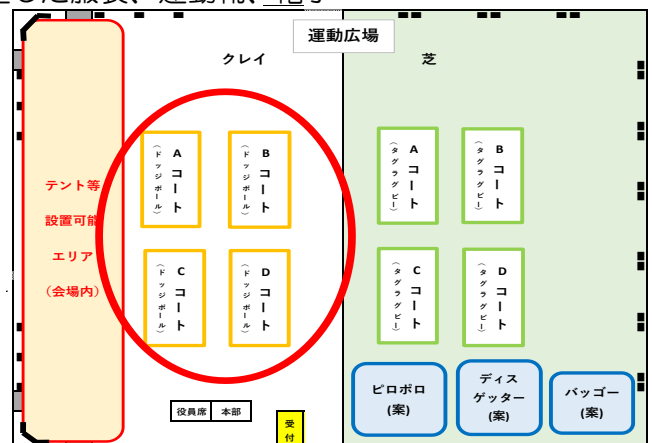
長崎市スポーツ少年団ドッジボール実施要項

- 1 参加対象者 低学年の部（小学4年生以下）、男女混合可
- 2 チーム編成
 - ・9～12名で1チームとする。
 - ・単位団で9名以上揃わない場合、または、複数チームに分けた場合に9名以上揃わない場合は、申し込み後、事務局で抽選し、混成チームを編成する。（ただし、重複エントリーは不可。）
 - ・申し込み～混成チーム編成後は、原則、チーム構成の変更を認めない。
※当日欠席により、やむを得ず人数が揃わない（9名未満）場合には、主催者の判断により、例外的にチーム調整（補充）を認める。
※当日欠席も考慮し、余裕のあるチーム編成を行うこと。
※人数が多い団は、複数グループ（〇〇団A、〇〇団B等）で申し込みを行うこと。
- 3 試合方法
 - (1)2グループでリーグ戦を行い、同順位同士で順位決定戦を行う。
※組み合わせ等は、事務局で決定します。
 - (2)競技は長崎市スポーツ少年団ドッジボールルール（別紙参照）により行う。
 - (3)試合は1試合7分間で行う。
相手チームの内野が全員アウトになるか、時間終了時に内野に残っている人数が多かったチームを勝ちとする。
 - <予選>
 - ・勝敗が決しなかった場合は、引き分けとする。
 - ・勝ち点は「勝⇒3」、「分⇒1」、「負⇒0」とする。
 - ・勝ち点で並ぶ場合、次の順序で順位を決定する。
①総得点 > ②直接対決の勝者 > 各チーム代表5名によるじゃんけん
※総得点…試合終了後、内野に残っている人数の総計
 - <順位決定戦>
 - ・勝敗が決しなかった場合は、各チーム代表5名によるじゃんけんを行う。
※延長戦は行わない。
 - (4)対戦チームの人数が異なる場合、人数が少ない方のチームの人数に合わせること。
 - (5)試合途中の選手交代は不可。
(4)により前の試合に出場できなかった選手は、次の試合に必ず出場させること。
※出場回数が均等になるよう配慮すること。
- 4 表彰 上位3チームを表彰。賞状と賞品を授与する。（※賞品は後日）
- 5 服装 各団のユニフォームまたは運動に適した服装、運動靴、帽子

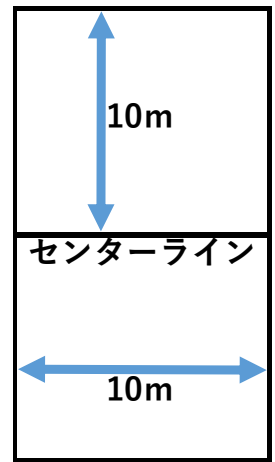
6 注意事項

- (1)選手は自己の健康に十分留意し、準備運動を入念に行うこと。
- (2)審判、係員の指示に従うこと。
- (3)閉会式にて表彰を行う。

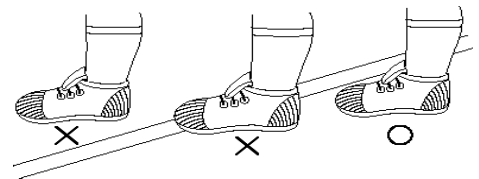
ドッジボール会場図 ⇒



○ ドッジボールルール



- 1 チーム
 - ・1チームは9名以上12名以下。
 - ・試合は対戦チーム同士で選手数が少ない方のチーム人数に合わせる。
 - ・1試合7分間。
- 2 コート
 - ・コート大きさは右の図のとおり。
- 3 外野
 - ・試合開始時、外野は3人とする。
 - ・外野の選手は、相手の内野の選手をアウトにすれば、自分の内野に戻ることができる。
 - ・試合開始時に外野にいた選手も、相手の内野の選手をアウトにしなければ、自分の内野に戻れない。
 - ・外野が1人のときに、外野の選手が相手の内野の選手をアウトにしても、自分の内野に戻れない。
- 4 ジャンプボール
 - ・試合はジャンプボールで始める。
 - ・ジャンパーへの第1投の攻撃は禁止とする。
- 5 アウト・セーフの判定
 - ＜アウト＞・相手のノーバウンドの投球を取れなかった場合
 - ・一回のノーバウンドの投球で2人に当たった場合 ⇒ 2人ともアウト
 - ＜セーフ＞・顔や頭にボールが当たった場合
 - ・1度味方に当たったボールを、味方の選手がノーバウンドで取った場合
 - ・相手が投球したときにファールがあった場合
- 6 内外野への移動
 - ・内野の選手がアウトになった場合 ⇒ 外野に移動
 - ・外野の選手が相手の内野の選手をアウトにした場合 ⇒ 内野に移動
 - ※試合中の内外野への移動は、コートの外を通ること。
- 7 選手の交代
 - ・選手の試合中の交代は、原則認めない。
 - ・人数調整により前の試合に出場できなかった選手は、次の試合に必ず出場することとする。
- 8 ファールとボールの支配権
 - (1) オーバーライン
 - ・ボールを投げる時にラインを踏んだ場合(2歩目も) ⇒ 相手の内野ボール
 - ・ボールを取るときにラインを踏んだ場合 ⇒ 相手の内野(外野)ボール
 - (2) ホールディング
 - ・相手のコートに転がっているボールを取った場合(空中はOK) ⇒ 相手の内野ボール
 - (3) タッチ・ザ・ボディー
 - ・試合中、わざと相手の選手にふれた場合 ⇒ 相手の内野(外野)ボール
 - (4) ヘッドアタック
 - ・相手の頭や顔に投げた場合 ⇒ 相手の内野ボール



※ファイブパス(5回以上パス回しをすること)は、本大会ではファールとして適用しないが、時間稼ぎでボール回しを行うことは禁止する。